

1. 組織名

神奈川県

2. 提出意見①

該当する交渉分野

全分野

意見

TPPに係る国際交渉については、平成25年7月23日に交渉会合への正式参加が認められ、年内の交渉妥結を目指して参加各国による協議が本格化している。

交渉にあたっては、国民の理解が得られるよう、十分な情報提供を行うとともに、交渉結果が国民の利益に結びつくよう、守るべきは守り、攻めるべきものは攻めるとの姿勢で、全力で交渉に臨んでいただきたい。

※ 同一の交渉分野について、2つ以上意見等を提出される場合は、「提出意見」の行をコピーの上、行を追加願います。

※ 異なる交渉分野について、意見等を提出される場合は、シートを分けて記入・提出願います。

1. 組織名

神奈川県

2. 提出意見①

該当する交渉分野

環境

意見

漁業に係る国の助成(補助)制度を維持すること。

現行の漁業補助の制度では、資源管理・漁業経営安定対策に基づく資源管理計画への参画を補助対象の要件とするなど、資源管理型漁業の推進にも配慮したものも含まれており、漁業補助がすなわち乱獲を招くという主張は誤りである。

また、水産基盤の整備等に係る補助制度では、漁港施設や荷捌き施設における衛生管理対策の推進や漁獲物の鮮度の向上、漁場整備による地先資源の増大、水産物の加工施設の整備による6次産業化の推進など、限られた資源を有効活用することにより水産業の推進に資するものであり、国の助成制度が漁獲圧力の増大(乱獲)を招くものではないことは明らかである。

漁業補助金は、国際的な水産資源の管理の観点からも重要な取り組みであり、国の助成制度の維持を求める。

※ 同一の交渉分野について、2つ以上意見等を提出される場合は、「提出意見」の行をコピーの上、行を追加願います。

※ 異なる交渉分野について意見等を提出される場合は、シートを分けて記入・提出願います。